

第35回
高松市
戦争遺品展

高松市平和記念館収蔵



海軍中尉 昭和二十年三月十七日硫黄島警備隊員トシテ戦死ヲ遂ゲラレタル

戦争は終わりましたか

令和7年 7月12日(土)~7月18日(金)
午前10時~午後5時 ※最終日は午後3時まで

瓦町FLAG2階コンコース(瓦町駅改札前)

高松市は1945(昭和20)年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方々が罹災されました。

この悲惨な高松空襲から80年の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料を展示します。

これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

高松市平和記念館ホームページ▶



主催／高松市

第35回高松市戦争遺品展～戦争は終わりましたか～

終戦 80 年といわれる今年、2025(令和 7)年に 考える“終戦”とは。

1945(昭和20)年8月15日、「終戦の玉音放送」がラジオから流れました。先の大戦における組織的戦闘行為そのものは終わりました。

しかしながら、戦争によってもたらされた困難を抱えながらも、命ある限り生きるための戦いは、まだ終わっていないのかもしれません。

本展は、終戦の日から 80 年経過した区切りの年であることを機に、主に“硫黄島”をキーワードとして、体験記や寄贈資料を紹介します。



二連式機銃の残骸より摺鉢山を望む

高松市平和記念館収蔵

皆様からのご提供をお待ちしております。

高松市では引き続き下記の資料等を収集しています。
当館に持ち込まれる前に、ご一報ください。

- 戦時中の市民の生活の様子を伝える資料
- 戦時色を表した子どもの遊びやおもちゃ
- 戦時中のレコードや蓄音機
- 戦時中に書かれた日記、家計簿、手紙等
- 撮影の日時・場所・経緯等が判明している写真

【お問い合わせ先】 高松市平和記念館

〒760-0068

高松市松島町一丁目15番1号
たかまつミライエ5階

TEL: 087-833-2211

FAX: 087-833-2244